NEWS RELEASE

遠州鉄道株式会社

２０２６ 年 １１ 月 １８ 日
浜松市中央区旭町 １２－１
遠 州 鉄 道 株 式 会 社

各位

遠鉄グループ 2026 年度中間決算について

本年度上半期のわが国経済は、高水準の賃上げや雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直しなどに支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、食料品をはじめとする物価上昇が続き、家計には節約志向がみられました。また、中東情勢の緊迫化や為替・エネルギー価格の変動、金利の上昇、インバウンド需要の伸び悩みなど、当社グループを取り巻く事業環境は、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画基本方針「人を大切にして企業価値を高める」のもと、賃金改善や職場環境の整備に取り組みました。また、M&A による事業基盤の強化、保険代理業の専門性・自律性の向上、駅施設のバリアフリー化などを進め、グループの成長とお客様の利便性向上を図りました。

本年度上半期の連結業績につきましては、営業収益 1,160 億 2 千 7 百万円（前年同期比 6.8%増加）、経常利益 43 億 6 千万円（前年同期比 0.8%増加）、親会社株主に帰属する中間純利益 29 億 1 千 4 百万円（前年同期比 9.8%減少）となりました。

今後の見通しにつきましては、変化するお客様の暮らしや地域のニーズに対応するとともに、将来にわたり安定したサービスを提供できるよう、人材の確保・育成、安全性の向上、設備の更新、業務の効率化などに取り組んでまいります。また、2027 年 4 月 1 日の持株会社体制への移行を通じて、各事業の自律性・機動力を高めるとともに、専門性とグループの連携を生かし、地域とともに成長することで、持続的な企業価値の向上を図ります。

なお、2026 年度の年間連結業績につきましては、人件費・仕入価格・エネルギーコストなどの上昇に加え、人材の確保・育成、安全投資、設備更新等に伴う費用を織り込み、営業収益は 2,372 億円（前年度比 1.7%増加）、経常利益は 76 億円（前年度比 15.9%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は 51 億円（前年度比 24.4%減少）となる見込みです。

（別紙）
（1）遠鉄グループセグメント別（事業別）の概況
（2）業績推移（連結決算・セグメント別営業収益・セグメント別営業利益）
（3）遠鉄グループ各社の主な事業内容

****

この件に関する問い合わせ先
遠州鉄道株式会社　経営企画課

（1）遠鉄グループセグメント別（事業別）の概況

① 運輸事業（鉄道事業、バス事業、タクシー事業、ロードサービス事業など）

鉄道事業におきましては、イベントと連携した利用促進などにより定期外利用が増加しました。また、7 月に第一通り駅のバリアフリー化工事が完成し、お客様の利便性向上に努めました。

バス事業におきましては、昨年 11 月の運賃改定に加え、第 20 回アジア競技大会などに伴う輸送需要に対応しました。また、タッチ決済割引キャンペーンを継続するなど、利用促進に取り組みました。

ロードサービス事業におきましては、人材の確保と車両配備の充実により、長距離搬送や大型車両の救援など幅広い依頼に対応できる体制を強化し、出動件数が増加しました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、75 億 4 千 8 百万円（前年同期比 3.0%増加）となりました。

② リテールサービス事業（百貨店業、食品スーパー業）

百貨店業におきましては、「プレミアムサロン」（旧お得意様サロン）でのサービスや商品提案の充実、婦人服・アクセサリー売場の移設・改装などにより、魅力ある売場づくりに取り組みました。また、京都展、初夏の大北海道展、イタリア展などの催事が好調に推移し、来店客数も前年を上回りました。

食品スーパー業におきましては、主力商品の価格訴求や店舗ごとの販促の強化に取り組みました。また、セルフレジの導入や店舗作業の標準化を進め、店舗運営の効率化を図りました。

以上の結果、リテールサービス事業の営業収益は、324 億 3 千 7 百万円（前年同期比 4.8%減少）となりました。

③ モビリティサービス事業（自動車販売業、自動車賃貸業、石油製品販売業）

自動車販売業におきましては、環境性能割の廃止に伴う登録時期変更の影響などにより、新車販売台数が前年を上回りました。また、中古車販売では、高年式車両の在庫充実などにより収益性が向上し、売上高も前年を上回りました。スズキ車販売では、ジムニーノマドなどの小型車の販売が好調に推移しました。さらに、静岡トヨタでは、創立 80 周年を記念したお客様感謝イベントを県中東部で開催したほか、ジュビロ磐田のマッチデー開催や交通安全資材の寄贈など、お客様や地域とのつながりを深める取組を進めました。

石油製品販売業におきましては、浜松市中央区の既存サービスステーションの営業を承継し、6 月に「EneJet 遠鉄植松町 SS」として営業を開始するなど、販売拠点の拡充を図りました。

以上の結果、モビリティサービス事業の営業収益は、521 億 8 千 4 百万円（前年同期比 13.2%増加）となりました。

④ 不動産事業（不動産業、建設工事業、ビル管理業）

不動産業におきましては、4月に「ブライトタウン御厨駅前」が竣工し、引渡しを進めました。また、売買仲介や分譲戸建住宅、注文住宅、リフォームなどにおいても取扱件数が増加しました。

建設工事業におきましては、6月に土木工事を強みとする西遠建設株式会社をグループ化し、事業基盤の拡充を図りました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、112 億 5 千 8 百万円（前年同期比 30.9%増加）となりました。

⑤ ウェルネス事業（保険代理業、介護事業、旅行業、ホテル業、遊園地事業など）

保険代理業におきましては、新商品の販売が好調に推移しました。また、6月に損害保険および一部生命保険の代理店機能を遠鉄インシュアランスパートナーズへ集約し、専門性・自律性を高めるとともに、お客様のご意向に沿った商品提案と、安心してご相談いただける体制の整備に取り組みました。

旅行業におきましては、バンビツアーで宿泊ツアーの充実や、観戦・観劇を楽しむ日帰りツアーの販売強化に取り組みました。宿泊・日帰りともに参加人員が増加したほか、修学旅行の取扱いも好調に推移し、営業収益が伸長しました。

ホテル・遊園地事業におきましては、浜名湖パルパルで4・5月の平日限定の入園料無料キャンペーンや、7・8月にフリーパスでプールへ無料入場できる施策を実施し、遊園地の利用人員が増加しました。また、ホテルウェルシーズン浜名湖では、平日の集客に加え、夏の繁忙期やシルバーウィークの宿泊利用も好調に推移しました。

以上の結果、ウェルネス事業の営業収益は、80 億 8 千 7 百万円（前年同期比 10.3%増加）となりました。

⑥ その他の事業（自動車運転教習業、情報サービス業、ソフトウェア開発業など）

自動車運転教習業におきましては、普通車の通学生を中心に入校者数が増加しました。また、指導員の増員や効率的な教習運営により教習需要に対応したほか、合宿教習の申込みを自社で直接受け付ける割合を高めるなど、収益性の向上にも取り組みました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、45 億 1 千 1 百万円（前年同期比 13.6%減少）となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2025 年度	2026 年度	前年比	2025 年度	2026 年度(見込)	前年比
営業収益	108,643	116,027	106.8%	233,168	237,200	101.7%
営業利益	3,715	3,945	106.2%	7,854	6,800	86.6%
経常利益	4,326	4,360	100.8%	9,033	7,600	84.1%
当期純利益	3,231	2,914	90.2%	6,743	5,100	75.6%

② セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2025 年度	2026 年度	前年比	2025 年度	2026 年度(見込)	前年比
運輸事業	7,331	7,548	103.0%	14,683	15,200	103.5%
リテールサービス事業	34,076	32,437	95.2%	70,424	67,600	96.0%
モビリティサービス事業	46,079	52,184	113.2%	95,961	103,800	108.2%
不動産事業	8,599	11,258	130.9%	23,646	24,300	102.8%
ウェルネス事業	7,334	8,087	110.3%	15,284	16,400	107.3%
その他の事業	5,220	4,511	86.4%	13,170	9,900	75.2%

③ セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2025 年度	2026 年度	前年比	2025 年度	2026 年度(見込)	前年比
運輸事業	232	201	86.5%	413	300	72.6%
リテールサービス事業	283	△95	―	231	0	―
モビリティサービス事業	1,386	1,969	142.0%	2,757	3,400	123.3%
不動産事業	531	920	173.2%	1,932	1,600	82.8%
ウェルネス事業	511	712	139.1%	904	1,000	110.6%
その他の事業	651	208	32.0%	1,617	500	30.9%

※金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

（3）遠鉄グループ各社の主な事業内容

2026 年 9 月 30 日現在

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道（株）
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道（株）
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道（株）
	自家用自動車運行請負業	遠州鉄道（株）
	自動車整備業	遠州鉄道（株）、日之出自動車工業（株）
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー（株）
	一般貨物自動車運送事業	日之出自動車工業（株）
リテールサービス事業	百貨店業	（株）遠鉄百貨店、（株）遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	（株）遠鉄ストア、（株）古田屋
モビリティサービス事業	自動車販売業	静岡トヨタ自動車（株）、モビリティ遠鉄（株）
	自動車賃貸業	静岡トヨタ自動車（株）
	石油製品販売業	遠鉄石油（株）
不動産事業	不動産業	遠州鉄道（株）
	ビル管理業・業務請負業、食品検査事業	遠鉄アシスト（株）
	建設工事業	遠鉄建設（株）、西遠建設（株）
ウェルネス事業	保険代理業	遠州鉄道（株）、遠鉄インシュアランスパートナーズ（株）
	介護事業	遠州鉄道（株）
	健康スポーツ業	遠州鉄道（株）
	旅行業	遠州鉄道（株）
	ホテル業、遊園地事業	遠鉄観光開発（株）
その他の事業	自動車運転教習業	（株）遠鉄自動車学校
	情報サービス業	遠鉄システムサービス（株）
	ソフトウェア開発業	遠鉄ベトナム（有）